

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公表番号】特表 2003-533649 (P2003-533649A)
 【公表日】平成 15 年 11 月 11 日 (2003.11.11)
 【出願番号】特願 2001-584750 (P2001-584750)
 【国際特許分類第 7 版】
 F 1 6 B 37/08
 【F I】
 F 1 6 B 37/08 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 15 年 9 月 22 日 (2003.9.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

軸方向の貫通孔 (22) を備える外側体 (16) と、
 前記貫通孔 (22) の中で軸方向に変位可能に収容され、雌ネジを有し、それぞれ半径方向内側の面に雌ネジセグメント (24) を支持して外側体 (16) が内側体に対して相対的にナット (10) の緩め方向に変位すると互いに押し離される、少なくとも 2 つのジョー (18, 20) に軸方向で分割されている内側体と、
 外側体 (16) に設けられている第 1 の案内手段 (26) と、
 ジョー (18, 20) に設けられ、外側体 (16) が内側体に対して相対的にナット (10) の締め方向に変位するときジョー (18, 20) が閉じられるように第 1 の案内手段 (26) と協働する第 2 の案内手段 (30) とを備えるナット (10) において、
 組み合わされたジョー (18, 20) が一定の断面をもつ少なくとも 1 つの第 1 の区域 (19) およびナット (10) の締め方向に拡大する断面をもつ少なくとも 1 つの第 2 の区域 (21) を有することを特徴とするナット (図 11)。

【請求項 2】

第 2 の区域 (21) が前記ジョー (18, 20) の分割面に対して少なくとも直角にナット (10) の締め方向に一定のピッチで拡大する断面を有することを特徴とする、請求項 1 に記載のナット (10) (図 11)。

【請求項 3】

ナット (10) の締め方向に向かって第 1 の区分 (19)、その後に第 2 の区分 (21)、その後に第 1 の区分 (19)、その後に再び第 2 の区分 (21) そしてその後に再び第 2 の区分 (19) が配置されていることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のナット (10) (図 11)。

【請求項 4】

ジョー (18, 20) が、外側体 (16) が内側体に対して相対的に緩め方向に変位する場合には半径方向外側に変位し、かつ、外側体 (16) が内側体に対して相対的に締め方向に変位する場合には半径方向内側に変位するように第 2 の案内手段 (30) が第 1 の案内手段 (26) と協働することを特徴とする、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載のナット (10)。

【請求項 5】

第 2 の案内手段が、ジョー (18, 20) の側面に延びていて締め方向で軸 (A) から

離れていく溝（３０）を含んでおり、第１の案内手段は、貫通孔（２２）から突出してこの溝（３０）の中に入るラグ（２６）を含んでいることを特徴とする、前記請求項のうちいずれか１項に記載のナット。

【請求項６】

それぞれのジョー（１８，２０）に、締め方向で軸（Ａ）から離れていく外側の楔面（３６）が設けられており、貫通孔（２２）にはそれぞれのジョー（１８，２０）に対して、付属の外側の楔面（３６）と対応するように締め方向で軸（Ａ）から離れていく内側の楔面（３４）が設けられていることを特徴とする前記請求項のうちいずれか１項に記載のナット。

【請求項７】

ジョー（１８，２０）が半径方向外側に向かって初期応力をかけられていることを特徴とする前記請求項のうちいずれか１項に記載のナット。

【請求項８】

ロックピン（４０）が軸（Ａ）に対して横向きに変位可能なように外側体（１６）に挿通されており、ロック位置にいるときには、その内側の端部で、少なくとも１つのジョー（１８）に軸（Ａ）に対して横向きに締め方向を向くように設けられた係止面（４２）に当接し、リリース位置にいるときには、その内側の端部で、この係止面（４２）のそばを通過して外側体（１６）とともに緩め方向に動くことができることを特徴とする前記請求項のうちいずれか１項に記載のナット。

【請求項９】

ロックピン（４０）の外側端部が、ロック位置のときに外側体（１６）の外側の円周面から屹立しており、ロックピン（４０）の内側端部と係止面（４２）は、ロックピン（４０）を押し込むことによってロック位置からリリース位置にもってこることができるように構成されていることを特徴とする請求項８に記載のナット。

【請求項１０】

ロックピン（４０）が、ロック位置のときに初期応力をかけられていることを特徴とする請求項８又は９に記載のナット。